

岡山のNPO・市民活動・社会貢献活動業界がわかる、みえる、よめる業界情報誌を目指す！

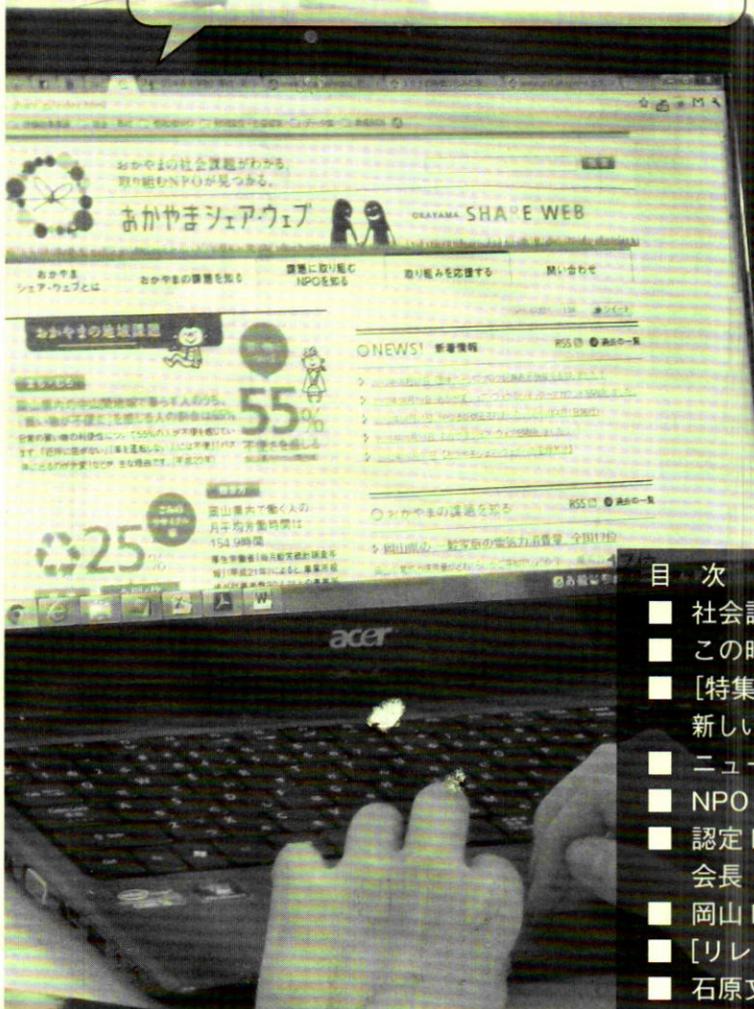
NPOkayama

特定非営利活動法人岡山NPOセンター 機関誌

特集

岡山の社会課題と NPOが見える

新しい“共有”のかたち
「おかやまシェア・ウェブ」オープンしました！



目次

- 社会課題を共有するために
- この時期の事務 VOL.4 「NPO 法改正」
- [特集] 岡山の社会課題と NPO が見える
新しい“共有”のかたち「おかやまシェア・ウェブ」オープンしました！
- ニューストピックス
- NPO 関連ニュースヘッドライン
- 認定 NPO 法人 おかやまエネルギーの未来を考える会
会長・廣本悦子さんに聞く
- 岡山 NPO センター事業 活動実施報告 & インフォメーション
- [リレーコラム] 助成財団の目線 vol.11
- 石原文庫の「ななめ読み」 vol.1

「困った！」も「こうしよう！」もシェアをする

おかやまの社会課題とその解決に取り組む NPO が一度にわかるサイトができました。

情報化が進み、インターネットにはたくさんの情報がありますが、地域の課題やその解決のための取り組みを一緒に見られるサイトは、意外とありませんでした。

岡山で今、どんな問題が起こっているのか？どんな人がどんなことで困っているのか？

その解決のために、どんな取り組みがあるのか？おかやまシェア・ウェブで、あなたの団体のことは勿論のこと、団体が解決に取り組む社会課題について発信しませんか。

(プログラムオフィサー 石原達也)



社会課題を共有するため

私は「NPO運動」という言葉をよく使う。運動とは未だ認知されていない価値観が少しずつ認知度を高めていく動きのことを意味していて、今まさにNPOはその過程にあるからである。私はNPO運動を個人の思いの社会化と位置づけているが、これは分権思想の具体化でもある。日本国は明治時代以降長らく強固な中央集権体制を築いて国造りを進めてきて、戦後になってもバブル崩壊時までは潤沢な税金を使って国を中心とする行政主導体制を維持してきたが、その綻びが顕著となるや分権思想が芽を吹き出した。法律上の分権改革は1993年の分権推進の国会決議から始まり、1995年の地方分権推進法、2000年の地方分権一括法と続いた。分権改革の行きつくところは憲法でしっかりと定められている国民主権の実体化である。即ち国民生活上で個人(国民)が解決できることはまず個人で行い、できないことは市町村に上げ、そこで解決できないことは都道府県そして国が最終的にしっかりと面倒を見るという動き方である。その流れの中で1998年に特定非営利活動促進法(通称NPO法)が制定されたことは疑う余地のないことである。

NPOという組織の成り立ちは誰かが社会課題を認識し、これを解決したいと思った時に手を挙げて同調する者を求めて、定款を作って、使命を確認し、事業を興していくという手順を踏んでいく。使命を果たすためには事業を継続して行っていく必要があるが、そのために組織マネジメントが求められる。特に担い手の数が増えていくことは重要なファクターである。社会課題を発信し、これを共有する人々をどのように増やしていくかインターネットは極めて有効な手段である。発信型のブログやメールマガジンによって不特定多数の中からその社会的課題に関心のある方々が自ら近づいてくれるのである。いかに関心を持ってもらえるか発信側の力量が問われる。

近年、社会の動きの中でツイッターやフェイスブックなどのSNS(ソーシャル・ネットワーク・サービス、交流サイト)が注目を浴びている。2012年4月22日付の朝日新聞第一面で「つぶやき選挙 政党恐々韓国」という記事が掲載された。ツイッターのフォロワーの数を公認の判断材料にしたり、つぶやきで候補者を応援したりけなしたりということによって選挙に大変な影響力を持っているとのことである。日本ではSNSはまだ選挙では活用できないが、NPO運動では志を同じくするものをフォロワーとして抱え、日頃から意見交換を行って社会課題を共有しておくことは“社会を変革する有効な手段となるのではないかと、これからの新しい媒体として注目したいところである。これらの新しい媒体の有効活用がNPO運動発展の鍵となる。

(代表理事 米良重徳)

VOL.4 「NPO法改正」

もう既に皆さんご存知だと思いますが、昨年(平成23年)6月、NPO法が改正され、本年(平成24年)4月1日施行されました。主だった変更点と特に気を付けていただきたい点について記載します。

★改正点の概要★ (主だったもの)

	改正前	改正後 (4/1～)
活動分野	17の活動分野	3分野追加 「観光の振興を図る活動」 「農山漁村及び中山間地域の振興を図る活動」 「都道府県・政令市の条例で定める活動」
所轄庁	内閣府	主たる事務所の都道府県・政令市
認証の取消事由	「3年以上にわたって事業報告書等を一切提出していない」 「特定非営利活動を全く行っておらず、改善命令(事業計画の作成、特定非営利活動の実施等)に違反」	事由追加 「認証があった日から6月を経過しても設立の登記をしないとき」
総会決議の省略	不可	可 (社員の全員が書面などにより意思表示をした場合)
理事の代表権の制限に関する登記	「理事の代表権に加えた制限は、善意の第三者に対抗できない」	同規定を削除
定款変更時の届出事項	定款の特定事項の変更には所轄庁の認証が必要	所轄庁への届出のみで変更可能なものとして4事項追加 「役員の定数」、「会計に関する事項」、「事業年度」、「解散に関する事項(残余財産の帰属すべき者に係るものを除く)」
会計書類の名称	収支計算書	活動計算書
情報開示	所轄庁は事業報告書等を閲覧させることのみ可で、コピー不可	所轄庁は事業報告書等を閲覧させることに加え、コピーも可

★特に大切なことについて★

理事の代表権の制限に関する登記について(重要)法人の定款の中で「理事長は、この法人を代表し、その業務を総理する。」と記載がある場合は、4月1日付けで「理事の代表権喪失登記」を必ずしなければなりません。この登記については、6ヶ月間の猶予がありますので、9月30日までに必ず変更登記の手続きを完了してください。また、今までに理事の変更登記が出来ていないことがあれば、過去にさかのぼり、すべての理事の変更登記もしなければなりません。理事の変更登記が適正に行われていない場合、過料に課せられます。

★なんでも出張相談★

岡山NPOセンターでは「なんでも出張相談」(有料)で相談にのらせていただいています。苦手なこと、心配なことなんでもお気軽にご相談ください。

■この時期の事務 一問一答

【問題】 次の法人の理事変更登記を行う場合、重任の年月日で正しいのは①～③の何番でしょう。

特定非営利活動法人〇〇〇は、会計期間が4月1日から3月31日までの法人です。

定款により、理事は総会で選任され承認されます。

前回の重任された日は、平成22年5月25日でした。また、今年度の通常総会は平成24年5月27日です。

- ① 平成24年3月31日
- ② 平成24年5月25日
- ③ 平成24年5月27日

㊤ **【景回】** (事務局：加藤彰子)

特集

岡山の社会課題とNPOが見える

■ おかやまシェア・ウェブとは？

私たちのまち・岡山には、今どのような課題があるのか。またその課題を解決するために、どのような取り組みが行われているのか。おかやまシェア・ウェブでは、最新の統計や調査の数字を身近な課題に落とし込み、岡山の実態を知るための情報を発信しています。まず課題を「共有」することで、その先に「解決」を考える動きが起きてくる。市民とNPOが課題解決を共に担うきっかけとなる、新しいサイトを目指します。

[おかやまシェア・ウェブ 3つの特徴]

1. 岡山の社会課題が数字でわかる

岡山の人口の変化から、福祉や環境、まちづくりなど、様々な課題を知ることができます。

おかやまシェア・ウェブで取り扱う9つの課題

分野名	概要
子ども	子どもや青少年、教育に関する社会課題
障がい者	障がいを持たれている方に関する社会課題
お年寄り	高齢者に関する社会課題
外国人	外国や在日外国人の方等に関する社会課題
まち・むら	地域・まちづくり、観光、災害、安全安心に関する社会課題
働き方	男女共同参画や消費者保護、人権・平和、就労、起業に関する社会課題
文化・スポーツ・科学	文化・芸術・スポーツ・科学技術の振興に関する社会課題
環境	環境・エコロジーに関する社会課題
その他	その他、市民活動の支援や政策提言等に関する社会課題

2. 社会課題から、解決に取り組むNPOを検索できる

地域で課題解決のために活動するNPOを、課題に基づいて検索することができます。

3. 情報を一度に収集し、発信・共有できる

所在地などの基礎情報からブログやTwitter、動画まで、団体の情報をまとめて見ることができます。

必要だと思う活動、解決したい課題が見つければ、FacebookやTwitterなどのソーシャルメディアを通じてコメントを寄せることができます。

その他、応援したいNPOを見つけられた際は寄付ページにすぐアクセスできるなど、課題解決の担い手であるNPOと市民の距離が近いサイトとなっています。

[信頼できる情報開示内容]

おかやまシェア・ウェブでは、日本財団および特定非営利活動法人CANPAN センターにより運営される、公益事業コミュニティサイト「CANPAN」への登録をお願いしています。

「CANPAN」では、NPOが登録した情報量に応じ、情報開示度レベルを示すマークや信頼性を示す認証マークが付与されます。一定の情報を開示できるNPOのみしか登録ができないため、閲覧者に安心して団体を探していただくことができます。

■ 登録団体の条件

下記の①～③の条件に当てはまる団体にご登録いただけます。

- ①岡山県内に事務所を置いている、または岡山県内を主な活動範囲としている市民団体。
- ②活動の内容が、おかやまシェア・ウェブの取り扱う9分野の課題内容に当てはまる団体。
- ③特定非営利活動促進法上の特定非営利活動または、それに準じる活動実態があるNPO等。

上記①～③及び「CANPAN」に登録された団体情報を確認し、登録基準に合致していることを確認します。

■ 登録のメリット

おかやまシェア・ウェブへの登録が完了すると、自団体が取り組む課題と自団体の情報が並列して提示されます。2つの情報を併せて掲載することで、課題に取り組む団体がよりわかりやすく、共感を得やすくなっています。

また寄付ページへのリンクも設けているため、「この課題をなんとかしたい」と閲覧者が感じた際、すぐに寄付という行動につなげられるようになっています。

新しい“共有”のかたち「おかやまシェア・ウェブ」オープンしました！

おかやまシェア・ウェブ <http://okayama-share.jp/>

私たちの岡山を、私たちの力で良くする。

そんな想いが動き出す、第一歩となるサイトを目指します。ぜひご活用ください。

いま、注目の岡山の課題

あなたの意見も聞かせてください。

岡山県のおよそ100人に1人が不登校

岡山県の不登校の子どもは小中合わせて2,271人。(平成21年度)100人に1034人の子どもが不登校になってしまっているという現状があります。この100人あたりの数字で考えた場合、岡山県の不登校児は全国で3番目に多いこととなります。不登校の要因は、友達関係がうまくいかない、授業が分からないなどの学校生活に関する。(続きを読む)

およそ
100人
にひとり

岡山県の一般家庭の電気力消費量、全国17位

岡山の電気力使用量がどれくらいかご存知でしょうか？一般家庭の電気力消費量 17位 (4,636,000,000キロワット/時,21年度)この数字は社団法人日本電気協会の「電気事業便覧」をもとに、年間の電灯使用量を集計されたものです。電灯とは、照明や、一般的な家電のために使う電力のことで、商業施設や事務所ビル、工場など使。(続きを読む)

電気力消費量
17位

学校給食における地場産物の使用割合

標頭の数字は、平成22年度の「学校給食の献立」に使用した食品のうち、当該都道府県で生産、収穫、水揚げされた食材の使用率。全国平均と岡山県平均の数字です。岡山県は全国平

全国25%
岡山**46.8%**

NEWS! 新着情報

RSS 過去の一覧

- 2012年06月07日 団体ページにブログ記事表示機能を追加しました!
- 2012年04月19日 おかやまシェア・ウェブのツイッターアカウントを開設しました。
- 2012年04月01日 NPO法が改正されました。(2012年4月1日施行)
- 2012年03月31日 おかやまシェア・ウェブを開設しました!
- 2012年03月30日 【おかやまシェア・ウェブへの登録方法】

おかやまの課題を知る(新着)

RSS 過去の一覧

2035年、岡山県人口は1697千人に?

国立社会保障・人口問題研究所が平成19年5月に発表した「日本の都道府県別将来推計人口」によると、岡山県の平成47年時点での人口は1,697,000人であると推計されています。2010年での総人口は1,945,276人。23年間で、およそ25万人減少することとなります。その間の数値を見ますと、*2020年が1,864,040人の予想で2010年より。(続きを読む)

2035年
1,697千人?

PICK UP NPO! 岡山県内のNPOをピックアップ!

特定非営利活動法人 岡山NPOセンター

詳細は岡山NPOセンター事務局までお問合せください。

おかやまシェア・ウェブに関するお問合せ先

特定非営利活動法人岡山NPOセンター
〒700-0822 岡山市北区表町1丁目4-64 上之町ビル3階
「新しい公共班」
TEL 086-206-2195 FAX 086-206-2196
Mail: npokayama@gmail.com
URL: <http://www.npokayama.org/>

おかやまシェア・ウェブ <http://okayama-share.jp/>

登録手続き

- [Step 1]** 公益ポータルサイト「CANPAN」に団体情報を登録の上、団体情報を★3つ以上になるまで開示してください。
- [Step 2]** おかやまシェア・ウェブ内の登録フォームからおかやまシェアウェブへの登録申し込みを行ってください。
- [Step 3]** 事務局により内容を確認させていただき、順次登録・公開をさせていただきます。

倉敷市長選に見る“まちづくり”

倉敷市では4月に市長選が行われた。再選を果たした伊東市長は、この選挙で「6つの政策」、「30の施策」からなるマニフェストを掲げて選挙に臨んだ。その政策のひとつは「行財政改革を実行し、市民との協働でまちをつくりまします」というもので、その中の第1の施策は「地域の課題の解決策を見いだす『まちづくりサロン』を開設するなど市民協働のまちづくりを推進します」と記されている。

岡山NPOセンター倉敷支部では、この『まちづくりサロン』の開設を提唱されている会議ファシリテーター普及協会代表の釘山健一氏を講師に招いた人材養成講座を2009年と2011年に行った。この成果が、担当課の評価を高く得て、その報告やサロンの説明を受けた市長が「まちづくりサロン」の開設をマニフェストに取り入れてくれたようである。

マニフェストとは、それを掲げる政治家が特に力を入れている重点施策のことである。その重点施策に倉敷支部が請け負う講座が選ばれるということは、非常に名誉なことであり、また、非常に重い責務を負うことにもなる。この重責を感じつつも、数年間に渡って築いてきた講座でのネットワークを活かして、皆さんのお力をお借りしつつ、倉敷の協働推進のために尽力していきたい。
(倉敷支部長 丸口晋司)

NPO関連ニュースヘッドライン

12/3/1-5/10 OKAYAMA NPO NEWS

- NPOに関するニュースや情報、イベント、制度、その他、ちょっと気になるニュースをどっとまとめて紹介いたします。
- 詳細につきましては各記事のURLよりウェブサイトへアクセスしてください。

■岡山県ホームページ <http://www.pref.okayama.jp>

<中山間・地域振興課> <http://www.pref.okayama.jp/sosiki/16/>

- ・「おかやま元気！集落応援ネット」のホームページアドレスの変更について (03.27)
- ・「買い物助け合いプロジェクト」の取組状況の概要について (04.13)

<文化振興課> <http://www.pref.okayama.jp/sosiki/23/>

- ・第10回おかやま県民文化祭の参加事業の募集について (04.20)

<男女共同参画青少年課> <http://www.pref.okayama.jp/sosiki/26/>

- ・「岡山県子ども・若者育成支援計画～おかやま子ども・若者ビジョン～」を策定しました (03.26)

<健康推進課> <http://www.pref.okayama.jp/sosiki/36/>

- ・岡山県障害者を地域で支える体制づくりモデル事業公募審査結果の公表 (04.16)

<障害福祉課> <http://www.pref.okayama.jp/sosiki/39/>

- ・平成24年度障害者自立支援対策臨時特例交付金（障害者自立支援基盤整備事業）協議書受付期間（平成24年5月9日～6月7日）(05.09)

<産業振興課> <http://www.pref.okayama.jp/sosiki/43/>

- ・岡山デニム世界進出支援事業の補助申請の受付開始について (04.09)

<経営支援課> <http://www.pref.okayama.jp/sosiki/45/>

- ・『岡山まちの夢 学生アイデアコンテスト』の募集について (05.02)

<人権施策推進課> <http://www.pref.okayama.jp/sosiki/48/>

- ・岡山県人権啓発パートナーシップ推進事業費補助金の補助対象事業の募集について (04.16)

■NPO法人シーズ・市民活動を支える制度をつくる会「NPO WEB」 <http://www.pref.okayama.jp>

- ・【改正NPO法】初の抜本改正、ついに施行 (04.04)
- ・H24税制改正、寄付金損金算入枠が変更 (04.18)
- ・新たな認定3件、認定NPO 250を突破 (05.02)
- ・ボランティア白書2012発行、寄付文化を特集 (04.20)

第8回

認定NPO法人 おかやまエネルギーの未来を考える会
会長・廣本悦子さんに聞く

「今こそ自然エネルギーの導入拡大を！」

今、シェアしなければならない社会課題の一つに挙げられるのが、エネルギー問題ではないだろうか。原発事故の様々な影響が広がる中、太陽光発電など自然エネルギーの活用にはかつてないほどの関心が寄せられている。「NPOリーダーのみる世界」第8回は、認定NPO法人「おかやまエネルギーの未来を考える会」の廣本悦子会長に話を聞いた。

（聞き手：岡山NPOセンター理事・鈴木富美子）

— まず、活動のきっかけから。

もともと環境問題には関心を持っていたのですが、1997年のCOP3京都会議をきっかけに、地球温暖化は子どもたちの未来を脅かす重大な問題だということを知り、何かできることをしようと、2000年に主婦仲間と任意団体を発足させたのが最初です。

— どんな取り組みを？

1年ほど勉強したのち、温暖化の解決策として、自然エネルギーを利用して自分たちで発電するという方法があることを知りました。そこで、市民の寄付と国の補助金などで、2002年、太陽光発電による市民共同発電所1号機を岡山市立中山保育園に設置したのです。

その後、普及啓発活動として、自然エネルギー学校の開校をはじめ、公民館講座や学校での出前授業、環境イベントや講演会などを企画・運営。また、ベレットストーブや太陽熱温水器の導入、照明のエコ化など、直接CO₂の排出削減を進める事業も手掛けました。

自治体（岡山市）と協働しての市民共同発電所づくりは全国初の取り組みであることから、経済産業省およびNEDOの「新エネ百選」にも選定され、現在は4基が稼働中。今後さらに導入拡大を進めていく予定です。

— 取り組みの中から見えてきた課題とは？

ご承知のように3.11の震災そして原発事故以来、人々の自然エネルギーに対する意識は大きく変わってきました。国も先日、太陽光など再生可能エネルギーの普及を促す「全量固定価格買い取り制度」の原案を示すなど、政策を変えようとしています。地球温暖化も待たないで大きな岐路に立つ今、1基ずつ太陽光発電所を増やすという従来の取り組み方ではなく、量的な導入拡大を加速できるかどうか、その実践力・覚悟が問われています。今こそまさにこの課題をみんなでシェアアクションを起こすとき。そんな地域や市民の行動が全国的に広がってけば、国もさらに動かざるをえないでしょう。

もちろん、一人ひとりが日々の生活を見直し、省エネに努めつつ、心豊かな暮らしを営むことが土台にあることはいまでもありませんが、その上で自然エネルギーの導入拡大を進め、安全安心なエネルギーが確保していれば未来に希望を残せると思います。そのためにも、活動を受け継いでくれる人材の確保、組織基盤の強化も大きな課題といえます。自然エネルギーへの関心の高まりをしっかりと受け止め、継続性のある活動・組織づくりを目指していきたいと思っています。

【認定NPO法人 おかやまエネルギーの未来を考える会】

2000年、任意団体「エネルギーの未来を考える会（略称エネミラ）」として発足。2002年にNPO法人に認証申請したのを機に現在名に改称。2010年7月には国税庁長官より認定NPO法人に認定された。安全安心なエネルギーによる低炭素な地域社会づくりをめざし、自然エネルギーの導入拡大、省エネの推進等の活動を行っている。



【廣本悦子さん】

1946年、岡山市生まれ。主婦。2000年に「エネミラ」を立ち上げ、会長に。活動を継続させることにはさまざまな困難があるが、熱意ある仲間との支え合いでここまでたどり着いた。環境省環境カウンセラー、岡山県温暖化防止活動推進員、省エネ普及指導員他

岡山NPOセンター事業 活動実施報告&インフォメーション

活動実施報告 (2012/3/1~2012/5/10)

- ・NPO事務局検定試行 (3/1)
- ・プロボノセミナー (3/6)
- ・マネジメント相談 (3/7、14、15、27、28、) (4/18、25①、25②、) (5/8)
- ・第3回 おかやま元気！集落アドバイザー支援力向上講座 (3/8)
- ・「地域活性化協働プログラム」成果報告会 (3/15)
- ・平成24年度NPO関連予算説明会 (3/16)
- ・認定NPO法人制度説明会 (3/16)
- ・地方で創る市民ファンドの可能性！～寄付とウェブ・そして円卓会議～開催 (3/24)
- ・常任理事会開催：平成23年度第14回 (3/2)、平成24年度第1回 (4/6)
- ・理事会開催：平成23年度第11回 (3/23)、平成24年度第1回 (4/27)

今後の実施事業インフォメーション (2012/5/28~2012/8/31) ※詳細は、各事業のHP等でご確認ください。

●新しい公共の担い手育成支援事業

URL <http://www.npokayama.org/>
TEL 086-206-2195 FAX 086-206-2196

- ・認定NPO法人制度勉強会 (5/28 [岡山]、6/12 [津山])
- ・プロボノ実施説明会 (6月末~7月上旬)
- ・NPO法人新会計基準セミナー (7月)
- ・認定NPO法人取得促進のための税理士・会計士向け取得支援者養成講座 (8/9)

●中山間地域支援事業

URL <http://sites.google.com/a/okayama-genki.jp/12/>
TEL 086-222-5161 FAX 086-233-1732

- ・地域リーダー養成講座 (①6月下、②7月下)
- ・集落アドバイザー養成講座 (①7月上、②8月上)

●その他事業

URL <http://www.npokayama.org/>
TEL 086-224-0995 FAX 086-244-0997

- ・CANPAN情報開示セミナー (6/21)
- ・倉敷市まちづくり人材育成講座 (①6/30、②7/28、③8/25)
- ・旭川まるごと探検隊 (①7/29、②8/8~9)

●ゆうあいセンター

URL <http://www.youi-c.com>
TEL 086-231-0532 FAX 086-231-0541

- ・専門相談 ([法律/経営] 6/12、[会計・税務/労務] 6/21)
- ・はじめてのNPO講座 (6/12)
- ・はじめてのボランティア講座 (6/21)

助成財団の目線 vol.11

今回の目線

おかやまNPOサポート基金 配分事業の目線



助成事業名

おかやまNPOサポート基金

岡山NPOセンター

Q1. おかやまNPOサポート基金の寄付配分の運営が始まった経緯は？

全国初の画期的な仕組みとして、ひろしまNPOセンターと日本郵政公社中国支社（当時）との間でスタートし、2004年に全国で二番目にご提案いただきました。NPO支援の商品化は当時でも大変斬新で、一時は他県へも広がろうとしていましたが、当時の政局や制度の壁に阻まれ広がらなかったのが今ながら残念です。幸い県下郵便局各位のご尽力で多数の方々のお申込が初年度から集まり、三年連続の活動助成や、ミッションパンフの印刷助成等の他にない支援を重ねながら、現在に至っています。

■「おかやまNPOサポート基金」助成先の目線

・NPOアワード【大賞】

特定非営利活動法人 環境カウンセラー協会（会長 藤本晴男さま）

平成23年3月11日には、代表者がNPO会議のために在京中で帰宅難民となり、身を持って地震の恐ろしさを味わいました。翌月から現地では不明者探しや復旧作業に参加。福島県で環境団体の支援集会を開いたり、県立津山工業高校に呼びかけて木質ストーブを贈るなどの活動を続けてきました。おかげで平成24年2月18日、東日本大震災復旧支援活動の「NPOアワード」で大賞を受賞することができました。

ご寄付いただいた皆様の善意を今後の励みとして有効に使わせていただきます。

Q2. どのような使命が寄付金の配分先NPOには託されていますか？

当基金は一般的な助成金とは異なり、岡山の方々の貯蓄“ゆうちょ”からの毎年の定額寄付（五百円もしくは千円）が源ですから、活動支援の礎となりながらも、寄付をいただいた方の地域貢献の意を汲み、永続的に地域へと活かされるテーマとなるように心がけています。

Q3. 今後、どのような社会課題、または分野に対して、取り組もうと考えられていますか？

市民社会の進化で、岡山型の寄付文化や寄付行動も進化中です。当基金も含め、地域の多様な思いに寄り添い、分かち合える新メニューが必要です。例えて言うなら「嬉しいことがあり、寄付に寄りました」のような日常を支える“鍵（寄付）”と“鍵穴（配分先）”の仲人をつつ、配分事業に携わったまた別の方々の「嬉しいことが私もあり、寄付します」といった寄付の風車を回し続けるための、風の扉の鍵穴（配分先）を拓き続けている最中です。

Q4. 最後に読者の方々へのメッセージがあればお願いします。

現在、新規寄付者を募集中です。毎年五百円か千円を口座振替で寄付できる仕組みで地域が支えられます。お申し込み用紙をお送りさせていただきますので、詳しくは岡山NPOセンターまでお問合せください。

副代表理事 川上俊久

・NPOアワード【特別賞】

特定非営利活動法人 倉敷町屋トラスト（代表理事 中村泰典さま）

震災直後は、災害の大きさに事態を把握するすべも想像力も萎え、ほぼ思考停止の状態でした。

何が出来るかを問うても答えが見えず、日常の市民活動の範囲で支援を考え、活動することが精一杯でした。しかし、福島から倉敷へ避難した市民との出会いが縁となり、被災地との距離を縮め、大震災とのかかわりが強まり、向き合うことになり、今もつながっています。

復興への道のりは、私たちの想像を超えて今後も長く続きます。しかも復興への道のりは被災者の数だけあり、応援もその数だけ多様です。個人の力で出来ることは多くありませんが、縁を絆に永く自分事として、皆で支援を続けるために活動していきます。

【岡山NPOセンターセレクト】

石原文庫の「ななめ読み」 vol.1

石原文庫とは？

岡山NPOセンターの理事 プログラムオフィサーの石原が個人的に収集した書籍を集めた本棚です。



【これからの日本のために「シェア」の話しよう】

【著者】 三浦 展（みうら・あつし）

「分かちあうこと」と「占有」という、相反する意味を持つ「シェア」という言葉。私たちの価値観は3.11以降、大小にかかわらず変化し、人とのつながりの大切さを感じたり、あらゆるものの限界と可能性をあらためて考え直すきっかけになった方も多いのではないのでしょうか。

誰と、何を、どうシェアするか、またはしないのか。身の回りで起きている課題を知り、「よそごと」ではなく「自分ごと」として行動につなげていくことができれば、新しく得た価値観の可能性は、どんどん広がっていくかもしれません。

（新しい公共調査員 石井範子）

●制作・発行

特定非営利活動法人 岡山NPOセンター

http://www.npokayama.org/

発行人 米良 重徳（代表理事）

編集責任者 川上 俊久（副代表理事）

発行日 2012年5月25日

●お問合せ先（事務局）

〒700-0822 岡山市北区表町1丁目4-64 上之町ビル3階

TEL：086-224-0995 FAX：086-224-0997

E-mail：npokayama@gmail.com

URL http://www.npokayama.org/

業務時間：月曜日～金曜日 9：00～17：00

（ただし、祝祭日はお休みをいただいています）